

第128号 2023年3月15日



技術営業グループ
常務取締役 今村 芳敬

VIV Asia

3月8日～10日までの3日間、タイのバンコクで畜産関係のアジア地区最大の展示会VIV Asiaが開催されました。VIV Asiaは、2年ごとに行われる展示会ですが、2年前はコロナの問題で延期され、昨年も問題が続いたため、4年ぶりの開催となりました。ハイテムからは、私の他、椿井常務、技術営業のゲン君、中山さんの4人で6日から11日の予定で出張しました。

7日は、展示会前日でブースの準備のため展示会場に行きました。前回まではBitechという展示会場で、電車移動が可能でしたが、今回からはIMPACTという一回り大きい新しい展示会場に変わり、電車がないため、タクシーで会場まで移動しました。



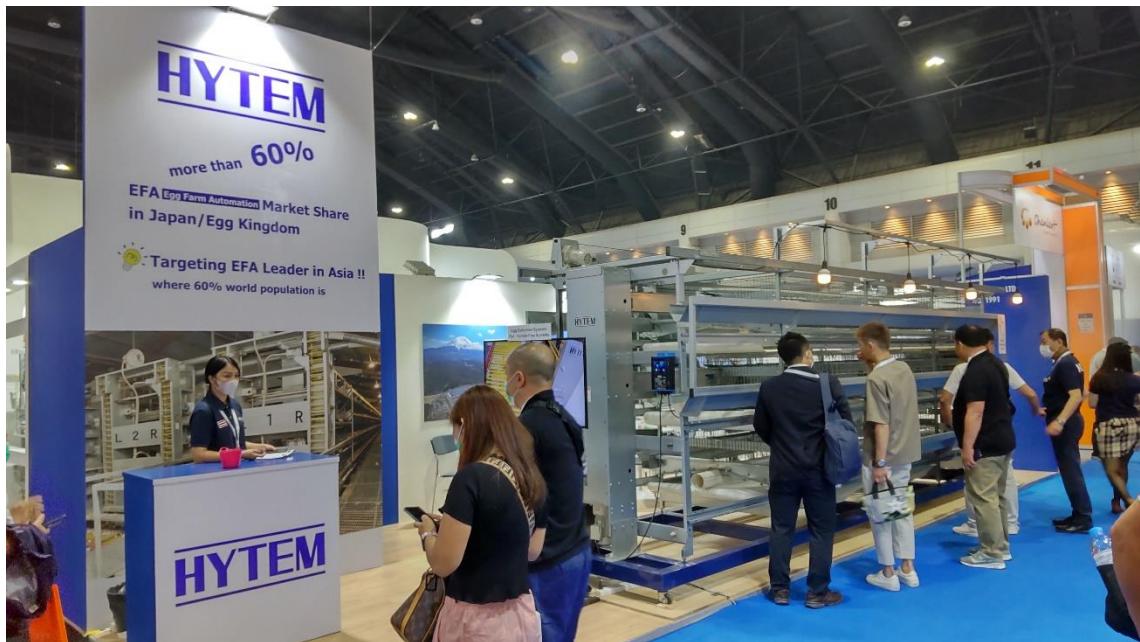
展示会場 IMPACT

ブースの設営はハイテムから事前に送ったプランに沿ってほぼ完了していましたが細かい取り合いなどの修正依頼をして、展示ケージの搬入を待ちました。午前中の搬入予定でしたが、業者の動きが悪く、午後になって何とか入ってきました。ここでケージを所定場所に置こうとしたところ、少しかさ上げされたブースの床が弱く穴が開いてしまい、床の補強が必要になり、設営業者と交渉を行い、補強費用の追加を行って何とか 5 時までに設営を完了することができました。



床補修のため展示ケージを移動

8 日は、展示会初日で開場されると前回の展示会が中止されたこともあって大勢の人が訪れてほとんど暇がない状態で対応することとなりました。ハイテムのブースには、タイの総代理店の WIT から Tat さん（女性）と技術者の Opa さん（男性）の 2 名がハイテムのシャツを着て手伝いをしてくれました。また、ハイテムの総代理店は、WIT の他、台湾の Hiterm、ベトナムの Viet Huy、バングラデシュの Hytem Bangladesh、フィリピンの Bitrade が来ており、それぞれの国のお客さんにハイテムの機械の説明をしたり、会場内を回ったりしていました。



ハイITEMブース



内容充実に努めた動画展示

日本からのお客さんも高尾野さんの他、高井さん、菅本さん、愛鷄園の斎藤社長など幾人か来られましたが、他国に比べると少ないように感じました。

9日は前日に比べると幾分か人が少くなり、商談を持つ時間ができました。バングラデシユのParagonからは引き合い中の案件についての質問や修正見積依頼、この展示会の翌週にバングラデシュで開催されるWPSAという展示会での再会を約束しました。

また、インドネシアユーザー第1号 VSA の Jason さんがブースを訪れ、10万羽の成鶏舎の引き合いをいただきました。



パングラデシュ Paragon との打合せ



社長はリモートで参加

夜は、タイの総代理店の WIT が夕食に招待してくれて、川辺のレストランでタイ料理をいただきました。WIT は社長の Anusa さんと息子の Boat さんから、Boat さんの奥さんの Beer さん、Anusa さんの娘婿の Bat さんが加わった現在の体制を紹介されました。食事後、2 次会にタイのクラフトビールの工場で 20 種類程度のビールから選んで、試飲して飲めるバーに連れて行ってもらい、楽しい時間を過ごすことができました。



タイ総代理店 WITとの夕食



ビール工場での2次会

10日の最終日は、さらにお客さんが少なくなったので、関係先のブースに行くことができました。技術的な打合せを行ったりするうちに終了時間も近くなり、5時過ぎにはほとんど人もいなくなったので、後片付けを始めて7時過ぎに完了、会場からシャトルバスでホテルに8時ごろ戻りました。私は翌週のバングラデシュの展示会に向かうため、もう1泊し、残りの3名は深夜便で日本に帰国しました。予期しないことなどがあって苦労もしましたが、盛況なハイテムブースで無事にVIV Asiaを終了することができて良かったと思います。

